

公開講座特別企画 **新春** シンポジウム

1/8 「環境論と文化論」

(土)

— 新文化財保護法と文化的景観 —

自然と人間の関係をめぐる議論は、来年度施行される新文化財保護法にも反映されている。今回のシンポジウムは、1981年に始まった国東半島の荘園村落遺跡調査にかかわった関係者を集め、文化財保護とは何か。その変化と課題について議論する中で、今回のシンポジウムの趣旨、「環境と文化の世紀」としての21世紀はどこに向かおうとしているのかを考えてみたい。

日 時	13時30分～16時30分まで		
場 所	別府大学 3号館ホール		
問題提起	飯沼賢司「環境歴史学と文化的景観」		
コーディネーター	飯沼賢司（別府大学教授）		
パネラー	海老澤 衷（早稲田大学教授）	服部 英雄（九州大学教授）	
	水野 章二（滋賀県立大学教授）	後藤 宗俊（別府大学教授）	
	中山 昭則（別府大学助教）		

附属博物館 創立 **50** 周年企画

1. 特別展

弥勒寺の世界

～ 考古遺物と歴史資料を中心に ～

会期 1/12(水)～4/18(月)

場所 別府大学博物館新館(33号館) 2階 展示室

〈概要〉宇佐八幡宮の神宮寺弥勒寺は日本最大の神宮寺であり、日本の神仏習合の原点とも言うべき寺院の1つである。今回の展示は、この寺院に焦点をあて、その成立と展開、そして衰退の歴史を明らかにする展示を企画し、仏教の導入から分離までの過程を1つの寺院の世界で通覧することを試みた。本学文化財学科と博物館との共催で行う特別展。

2. アジア歴史文化研究所・附属博物館共催企画展

箸と匙

～ すくう・つかむ・たべる 東アジアの食膳具 ～

会期 1/18(火)～4/25(月)

場所 別府大学博物館本館(18号館) 4階 展示室

〈概要〉別府大学アジア歴史文化研究所と附属博物館が隔年で実施するアジアに関する企画展の第3回目。今回は、日本・中国・韓国を中心とした東アジアの箸・匙を中心とした食文化の形を比較する。

記念講演 アジア歴史文化研究所主催企画

演題 「飲食の道具と日本人」

日時 1/12(水) 13:00～16:10

場所 別府大学 32号館400番教室

講師 吉良 文男（茶道資料館研究員）



別府大学

〒874-8501 大分県別府市北石垣82

TEL 0977-67-0101

<http://www.beppu-u.ac.jp/>